

I 本校の概要

〔学校の沿革〕

- 明治 10年 大山村・甘木村に小学校設置
12年 近延村・土生に小学校設置
19年 4校舎を併せ河内小学校を現在地に設置
- 昭和 3年 運動場新設
4年 校舎増築
16年 河内国民学校と改称
22年 河内小学校と改称
29年 新校舎（南校舎）及び便所の改築
32年 給食室・調理室新築
40年 創立80周年記念行事開催
エレクトーン購入・全教室にテレビ・ラジオ設置
42年 NHKの研究委託校となる 山口県視聴覚教育研究大会会場となる
50年 創立90周年記念
53年 市指定教育課程研究推進校となる
54年 同上発表大会
55年 小・中共用体育館建設
56年 プール完工式、米飯給食週2回実施
58年 アルミサッシ取付、スチール黒板取替
県指定同和教育研究発表大会
59年 新校舎工事完了、運動場拡張工事完了
60年 開校100周年記念式典挙行（11月）
記念庭園・記念遊具施設完成・百年誌発刊
62年 ふれあい学習園整地活用・郷土資料室整備活用 お年寄り参観日の試行
63年 郵政省簡易保険団体加入（12月）『ふるさとかるた』製作
- 平成 元年 旧校舎一階窓アルミサッシ工事完了
2年 旧校舎二階窓アルミサッシ工事完了
5年 文部省道徳教育研究指定校（第1年次）
6年 文部省道徳教育研究発表会（第2年次）
10年 河内中学校体育館委譲
12年 パソコン室整備（サーバー機導入と機器・ソフトの整備充実）
13年 副読本「ふるさと南河内」作成
14年 理科室実験台4台・百周年記念として長胴太鼓購入
15年 学校評議員制度の導入（4名）
17年 児童生徒人間関係づくり実践モデルの研究推進校（2ヶ年指定）
18年 資料室を多目的教室に改装・国民文化祭子ども夢プロジェクト参加
19年 放課後児童教室開設・特別支援教室開設
22年 体育館耐震化工事終了
23年 3・4年複式学級設置
24年 元ラグビー選手 石川安彦氏を招聘しての「タグ・ラグビー教室」開催
旧校舎側外トイレ改修・講堂放送機器交換・電話及びインターホン設備交換
25年 スロープ設置、屋上防水工事完了、「著名なスポーツ選手による運動教室」開催（元ラグビー選手 石川安彦氏）、「専門家と連携した防災出前授業」（山口大学大学院理工学部研究科 准教授 朝位孝二氏）
26年 2・3年，4・5年 複式学級となる
27年 3・4年，5・6年 複式学級となる
学校運営協議会発足 コミュニティ・スクールとなる
28年 特別支援学級あおぞら（自閉症・情緒）新設
29年 1・2年，3・4年，5・6年 複式学級となる。
旧校舎耐震化工事終了・外トイレ新設
30年 台湾台南市東区大同国民小学校との交流開始
- 令和 元年 放課後教室を旧校舎1階に移転
第1回3校合同大運動会実施

〔地域の実態〕

1 校区の特色

(1) 自然環境

錦川の一つの支流である保木川を取り巻く面積25.7平方キロメートルのハート形の形が南河内地区で、東は御庄・師木野地区、北と西は北河内地区、南は、玖珂町と接している。

地区の中央部を貫流する保木川は、近延川、竹安川の支流を合わせて錦川に注ぎ、これらの支流流域に集落（家屋・農地）がある。

地区の中央部を国道2号線が南北に貫いて、岩国・玖珂に通じ、地区の中心部土生から岩国駅までバスで35分、玖珂駅まで15分を要する。

(2) 文化・産業

歴史は古く校区内より弥生後期の土器が出土している。中世には山代庄に属し、藩政時代は山代から離れ岩国領となっている。

明治22年町村制実施により伊房・竹安・土生・角・保木・上田・寺山・近延・行正・入野・大山・甘木の12か村を合併して南河内村となる。

各地区に各々由緒ある社寺があり、地域文化の歴史を伝えている。もともと純農村であったが、現在は兼業農家が大部分を占めている。

古くより教育への関心が厚く、多くの有能な人材を生んでおり、教育面で豊かな伝統をもつ地域である。

(3) 民情・人口

古くより12の集落は、各々が一つの村を形成していたので、村落共同体としての意識が強い。

これまで農村型の温かい連帯意識で結ばれてきたが、新世代交代・都市部からの転入などにより、いくらかその結びつきが弱まってきてはいるが、地域の諸行事を通じて、より広い立場での連帯感が生まれ深まっているようである。世帯数は年々減少しており、過疎化の傾向にある。

2 教育への関心

学校教育に対する家庭の関心度は高く、熱心でもあり協力的である。また、地域住民の教育一般への関心度も高い。従ってPTAも極めて協力的な活動を推進している。

さらに社会の変化に対応した教育を推進するため、学校・保護者・地域社会の一層の連携を強めることが必要である。

[児童の状況]

1 児童の実態

全般的に明朗で、スポーツを好み活動的である。また、男女を問わず仲良く遊んだり助け合ったりする。学習に対しては、意欲的に取り組む子どもが多く、互いに教え合ったり助け合ったりしながら、協力して作業を進める場面も多く目にする。

その反面、ねばり強く取り組む持久性や自己表現力など改善すべき課題もある。

2 学年別児童数（総数23名） 4月8日現在

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
男 子	2	9	1	2	2	1	17
女 子	2	0	1	2	0	1	6
計	4	9	2	4	2	2	23
実戸数	2	7	2	4	0	2	17

3 地区別児童数

地区名	行正・上田・近延	前土生・六反田	甘木・入野
児童数	7	8	2
地区名	後土生	竹安・伊房1	角・保木
児童数	3	1	2

4 児童数の推移

年 度	昭40	昭50	昭60	平 3	平 5	平 7	平 9	平11	平13	平14
児童数	247	174	152	161	155	139	102	96	95	84
年 度	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24
児童数	86	85	86	85	78	72	63	54	48	46
年 度	平25	平26	平27	平28	平29	平30	平31	令和2	令和3	令和4
児童数	40	39	37	34	28	26	24	19	19	23